

第7回 5月30日（木）13:00～14:30

乳幼児保育・教育から学ぶこと



## 今西恵子氏

東京学芸大 こども未来研究所 専門研究員（保育）  
東京学芸大 学芸の森保育園 施設長・副園長

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

### <講師プロフィール>

東京学芸大こども未来研究所 専門研究員（保育）

東京学芸大学芸の森保育園 施設長・副園長

愛媛大学大学院 教育学研究科 特別支援教育専攻 特別支援学校教育専修 修士課程修了（教育学修士）

【資格・免許】幼稚園教諭2種免許状、保育士、特別支援学校教諭専修免許状（知的・肢体・病弱・聴覚）

#### 【経歴】

幼稚園教諭、地域子育て支援センター、保育者養成大学の教員等を経て、現在、東京学芸大学芸の森保育園施設長・副園長を務める。

乳幼児期の子育て支援と特別支援教育等について、地域で普及活動を行っている。

### <担当スタッフより>

皆さんは「学び」と聞いて、どんなことを想像しますか？学校の授業、参考書に書いてあること、ネットの情報など、「知識を蓄える」というイメージが強いのだと思います。しかし、人間は生まれた瞬間から多くの情報を取り込み、日々成長し続け、新しい出会いや経験に直面し、その一つ一つが私たちの「学び」となっているのではないのでしょうか？

今西さんは、東京学芸大こども未来研究所で乳幼児教育の研究を行い、保育園の副園長も務めていらっしゃいます。日々、幼い子供達と接している今西さんは、人間の生まれながらにして行っている「学ぶ」という行動を目の当たりにしていらっしゃいます。今西さんのご講演を聞いた後に、皆さんが自分の身の回りに溢れている学びにもっと興味を持って接してくれたらいいなと思っています。私たちが思っているよりも長い間続けてきた「学ぶ」ことについて、一緒に考えてみましょう！

共催：FD「女性の学業・研究・キャリア支援と保育について考える授業実践  
一学内保育所に関する学びを事例として」